



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場会社名 総合警備保障株式会社
コード番号 2331 URL <http://www.alsok.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村井 温

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 大谷 啓

TEL 03-3470-6811

四半期報告書提出予定日 平成23年11月8日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	147,569	6.8	6,336	△7.3	7,208	△5.8	2,890	△18.5
23年3月期第2四半期	138,136	△0.2	6,831	9.4	7,649	7.0	3,544	4.5

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,904百万円 (△6.5%) 23年3月期第2四半期 3,107百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	28.75	—
23年3月期第2四半期	35.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	276,009	164,326	52.4	1,438.40
23年3月期	284,350	162,178	50.3	1,421.67

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 144,608百万円 23年3月期 142,926百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	301,800	8.1	9,900	△4.4	11,200	△4.8	5,300	12.6	52.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	102,040,042 株	23年3月期	102,040,042 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,505,651 株	23年3月期	1,505,605 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	100,534,432 株	23年3月期2Q	100,534,491 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 追加情報	10
4. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催いたします。説明会で配布する資料は説明会開催後速やかに当社ホームページにて掲載する予定です。

・平成23年11月2日（水）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響で低迷した国内生産や消費からの回復基調にあるものの、国内における福島第一原子力発電所事故の影響や、停滞を続ける米国経済、欧州通貨危機などによる円高の進行により世界経済が減速をみせるなど、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループは、このような経済環境の中、引き続きセキュリティ事業分野を中心に、品質の高い商品・サービスを提供することで、多様化・高度化する社会のニーズに応え、事業の拡大に努めてまいりました。

以上の結果から、連結子会社化した日本ファシリオ株式会社の影響もあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は、147,569百万円（前年同期比6.8%増）の増収となりましたが、震災等の影響もあり、営業利益は6,336百万円（前年同期比7.3%減）、経常利益は7,208百万円（前年同期比5.8%減）、四半期純利益は2,890百万円（前年同期比18.5%減）の減益となりました。

セグメント別にみますと、以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントは、「セキュリティ事業」の区分に属しておりました「総合管理・防災事業」を独立区分して表示しております。前期比較にあたっては、前年同四半期連結累計期間の実績を変更後の区分に組み替えて行っております。

セキュリティ事業は、機械警備業務において、引き続き大手ハウスメーカーとの提携によるホームセキュリティの機器売却収入が伸びました。警備輸送業務においては、ATM総合管理業務の収入が伸びました。その結果、売上高は、128,812百万円（前年同期比1.0%増）となりました。しかし、震災被災地の応援体制確立に伴う時間外勤務の増加などが影響し、営業利益は9,683百万円（前年同期比2.3%減）となりました。

総合管理・防災事業は、防災用品の販売が堅調であることに加え、日本ファシリオ株式会社の連結子会社化に伴い、売上高は、16,301百万円（前年同期比95.6%増）となりましたが、震災等の影響により、営業利益は293百万円（前年同期比63.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前期末比で8,341百万円減少し、276,009百万円となりました。この主な減少要因は、現金及び預金6,406百万円の減少、受取手形及び売掛金1,661百万円の減少であります。

負債の部は、前期末比で10,489百万円減少し、111,682百万円となりました。主な増加要因は、未払法人税等952百万円の増加であります。これに対し主な減少要因は、短期借入金7,049百万円の減少、支払手形及び買掛金2,255百万円の減少、長期借入金1,402百万円の減少であります。

キャッシュ・フローの状況につきましては次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果増加した資金は3,293百万円（前年同期比42.1%減）であります。資金の主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益6,894百万円、減価償却費による資金の内部留保6,079百万円、売上債権の減少による資金の増加1,675百万円であります。これらに対し資金の主な減少要因は、警備輸送業務に係る資産・負債の増減額の減少7,254百万円、仕入債務の減少による資金の減少3,482百万円であります。

なお、警備輸送業務に係る資産・負債の増減額には、警備輸送業務用現金、及び短期借入金のうち警備輸送業務用に調達した資金等の増減が含まれております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果使用した資金は4,779百万円（前年同期比20.1%増）であります。資金の主な増加要因は、投資有価証券の売却による収入1,022百万円であります。これに対し資金の主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出4,089百万円、投資有価証券の取得による支出1,520百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果減少した資金は5,192百万円（前年同期比98.6%増）であります。資金の主な減少要因は、長期借入金の返済による支出1,898百万円、リース債務の返済による支出1,296百万円、社債の償還による支出1,150百万円、配当金の支払1,005百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月9日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算することとしております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	51,062	44,655
警備輸送業務用現金	57,676	57,125
受取手形及び売掛金	25,722	24,061
有価証券	942	628
原材料及び貯蔵品	4,254	4,640
未成工事支出金	1,256	940
立替金	5,862	6,740
その他	8,138	8,488
貸倒引当金	△180	△188
流動資産合計	154,735	147,092
固定資産		
有形固定資産	59,514	59,790
無形固定資産		
のれん	1,712	1,541
その他	5,759	5,503
無形固定資産合計	7,471	7,044
投資その他の資産		
投資有価証券	24,699	24,879
その他	38,673	37,922
貸倒引当金	△743	△720
投資その他の資産合計	62,628	62,081
固定資産合計	129,615	128,916
資産合計	284,350	276,009
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,384	11,129
短期借入金	28,782	21,733
未払法人税等	1,826	2,779
引当金	1,130	1,289
その他	26,646	24,870
流動負債合計	71,771	61,802
固定負債		
社債	100	50
長期借入金	12,226	10,823
退職給付引当金	28,099	28,254
役員退職慰労引当金	1,641	1,603
資産除去債務	89	90
その他	8,244	9,057
固定負債合計	50,400	49,880
負債合計	122,172	111,682

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,675	18,675
資本剰余金	32,117	32,117
利益剰余金	98,374	100,260
自己株式	△1,974	△1,974
株主資本合計	147,192	149,078
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,139	935
土地再評価差額金	△5,395	△5,395
為替換算調整勘定	△10	△9
その他の包括利益累計額合計	△4,265	△4,470
少数株主持分	19,251	19,718
純資産合計	162,178	164,326
負債純資産合計	284,350	276,009

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	138,136	147,569
売上原価	101,960	111,114
売上総利益	36,176	36,455
販売費及び一般管理費	29,344	30,118
営業利益	6,831	6,336
営業外収益		
受取利息	149	135
受取配当金	341	342
持分法による投資利益	134	84
その他	963	1,131
営業外収益合計	1,589	1,694
営業外費用		
支払利息	292	243
固定資産除却損	150	168
その他	328	409
営業外費用合計	772	821
経常利益	7,649	7,208
特別利益		
投資有価証券売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
投資有価証券評価損	320	124
減損損失	9	29
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	340	—
災害による損失	—	160
その他	0	0
特別損失合計	670	314
税金等調整前四半期純利益	6,980	6,894
法人税等	3,069	3,704
少数株主損益調整前四半期純利益	3,911	3,190
少数株主利益	366	299
四半期純利益	3,544	2,890

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,911	3,190
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△782	△304
為替換算調整勘定	△6	1
持分法適用会社に対する持分相当額	△14	16
その他の包括利益合計	△803	△285
四半期包括利益	3,107	2,904
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,780	2,686
少数株主に係る四半期包括利益	326	217

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,980	6,894
減価償却費	5,828	6,079
減損損失	9	29
のれん償却額	—	171
負ののれん償却額	△40	△40
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△47	△15
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△19	93
賞与引当金の増減額 (△は減少)	121	198
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△77	△81
受取利息及び受取配当金	△491	△478
支払利息	292	243
持分法による投資損益 (△は益)	△134	△84
固定資産売却損益 (△は益)	△6	△0
固定資産除却損	150	168
投資有価証券売却損益 (△は益)	△6	7
投資有価証券評価損益 (△は益)	320	124
デリバティブ評価損益 (△は益)	93	140
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	340	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,703	1,675
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△704	△70
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,691	△3,482
前払年金費用の増減額 (△は増加)	110	380
警備輸送業務に係る資産・負債の増減額	△3,300	△7,254
その他	△172	535
小計	7,257	5,236
利息及び配当金の受取額	593	547
利息の支払額	△292	△236
法人税等の支払額	△2,822	△2,856
法人税等の還付額	949	602
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,684	3,293

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	1,079	173
有形固定資産の取得による支出	△5,313	△4,089
有形固定資産の売却による収入	22	0
投資有価証券の取得による支出	△705	△1,520
投資有価証券の売却による収入	800	1,022
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△0	△12
長期貸付けによる支出	△57	△66
長期貸付金の回収による収入	53	65
その他	141	△352
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,979	△4,779
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△547	△64
長期借入れによる収入	1,650	450
長期借入金の返済による支出	△670	△1,898
社債の償還による支出	△1,100	△1,150
少数株主からの払込みによる収入	14	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△681	△1,296
配当金の支払額	△1,005	△1,005
少数株主への配当金の支払額	△273	△227
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,614	△5,192
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△911	△6,683
現金及び現金同等物の期首残高	37,349	43,654
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	379
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,437	37,351

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 追加情報

①会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

②「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」の適用

当社の連結子会社である日本ファシリオ株式会社は、平成23年6月1日に退職金規定の改定を行い、税制適格退職年金制度から確定給付企業年金制度へ移行し、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号)を適用しております。

これにより退職給付債務が71百万円増加し、同額の過去勤務債務が発生しております。

なお、過去勤務債務は、発生時に一括費用処理することとしています。

本移行に伴い、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が、それぞれ71百万円減少しております。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当社グループは生産活動を行っていませんが、当第2四半期連結会計期間末日現在実施中の契約件数をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前年同四半期比 (%)
セキュリティ事業		
機械警備業務 (件)	556,039	4.1
常駐警備業務 (件)	2,909	2.4
警備輸送業務 (件)	47,314	28.7
合計 (件)	606,262	5.7
総合管理・防災事業 (件)	45,757	7.9
報告セグメント計 (件)	652,019	5.8
その他 (件)	9,336	33.0
合計 (件)	661,355	6.2

(注) 警備輸送業務の件数の増加につきましては、契約形態の変更によるものを含みます。

(2) 販売実績

販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	前年同四半期比 (%)
セキュリティ事業		
機械警備業務 (百万円)	69,039	0.3
常駐警備業務 (百万円)	35,129	0.2
警備輸送業務 (百万円)	24,643	4.3
合計 (百万円)	128,812	1.0
総合管理・防災事業 (百万円)	16,301	95.6
報告セグメント計 (百万円)	145,114	6.8
その他 (百万円)	2,455	7.8
合計 (百万円)	147,569	6.8

(注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 販売実績が総販売実績の10%以上の相手はありません。